

令和8年度 2年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
芸術	美術Ⅱ	2	2	2年文e

使用教科書	副教材等
「高校生の美術2」（日本文教出版）	なし

科目の目標
<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・美術文化と主体的に関わり美術の幅広い表現及び鑑賞の活動に取り組もうとしている。

評価方法
授業への取り組みの観察、ワークシートへの記述内容の確認・分析、ワークシートや作品などの提出物等の内容を観点別に総合して評価する。

学習計画							
月	題目	領域	項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
					①	②	③
4	ガイダンス			・美術Ⅱの学習について 授業内容、必要な用具、材料などを理解する			
4 5 6	鉛筆デッサン	表現	絵画	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆デッサンの特徴や良さ、効果を理解する。 ・モチーフをよく観察し、感じ取ったことを基に明暗や空間感、量感を意識して表現の構想を練ることができる。 ・鉛筆の特性を生かして表現を追求できる。 	○	○	○
			鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆デッサンの造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の工夫などについて多様な観点から考え、見方や感じ方を深めることができる。 		○	○
7	水墨画		鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・日本及び諸外国の美術作品などから表現の独自性などを感じ取り、時代、民族、風土、宗教などによる表現の相違点や共通点などから美術文化について考え、見方や感じ方を深めることができる。 	○	○	○
9	色彩演習	表現	デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩について特徴や効果を理解する。 	○		○
10 1 12	ポスターデザイン	表現	デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術発表会の演目をテーマに、人と社会をつなぐデザインの働きについて考え、主題を生成する。 ・色彩などの効果や、描画材料の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練り、創意工夫して主題を表現することができる。 	○	○	○
			鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や機能と調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、社会の中の美術の働きについて感じ方を深めることができる。 		○	○
1 2	立体デザイン	表現	デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインのはたらきについて考え、主題を生成することができる。 ・材料の特性などを生かして、主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができる。 	○	○	○
			鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や機能と調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、社会の中の美術の働きについて感じ方を深めることができる。 		○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
芸術	音楽Ⅱ	2	2年	文e音楽Ⅱ選択者

使用教科書	副教材等
『高校生の音楽②』教育芸術社	なし

1 科目の目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
 (2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 評価の観点とその趣旨

①	知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。 創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
②	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて独自の表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。
③	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3 評価方法

ア 取組みの観察	イ 演奏、作品の内容	
ウ ワークシート等への記述内容	エ 提出物の内容	アからエを観点別に見取ったものを総合して評価する。

4 学習計画

学期	月	題材名	領域	項目	使用教材項目	題材の学習目標	評価の観点 (特に重視するもの)		
							①	②	③
1 学期	4	発声・合唱	表現	歌唱	糸	・安定した呼吸を続ける方法を理解し、響きを保つことができる ・曲想と歌詞との関わりを理解して、表現意図をもって豊かに歌える	○	○	○
	5	同じ旋律の音楽の比較	鑑賞		時代を超えて鳴り響く『怒りの日』	・音楽を形づくっている要素やそれらの働きに注目しながら曲を聴き、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めることができる ・曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができる	○	○	○
	6	リコーダー	表現	器楽	ロンド	・管楽器のしくみについて理解している ・曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解できる ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する	○	○	○
	7	リズム・アンサンブル	表現	器楽	クラッピング カルテット第2番	・音符や休符の長さを意識してリズムを正確に打ち、強弱の変化や曲の構造を理解するとともに、リズムアンサンブルの表現を創意工夫して演奏する	○	○	○
2 学期	9	ヴァイオリン	表現	器楽	喜びの歌	・弦楽器のしくみについて理解し、必要な奏法技能を身につける ・曲想に合った表現について考え、音色や奏法との関わりを意識しながら演奏する	○	○	○
	10	創作表現	表現	創作	BGMをつくろう	・音素材、サウンドピース、メロディーの骨格を表現したいイメージと関わらせて創作する ・さまざまな音素材を重なり、音楽を形づくっている要素を変化させて演奏する ・個性豊かな創作表現を工夫してBGMをつくる	○	○	○
	11	外部施設との交流演奏会に向けて	表現	器楽	クリスマスソング	・楽器のしくみについて理解し、必要な奏法技能を身につける ・曲想に合った表現について考える ・曲想と歌詞との関わりを理解して、表現意図をもって豊かに演奏する	○	○	○
	12	ハンドベル ア・カペラ	表現	歌唱	聖歌	・互いの音楽を聴き合ったり、意見交換したりして、自分の演奏表現技能を高めるとともに、アンサンブルに必要な技能を高めていく ・聞き手を意識したプログラムを考える	○	○	○
3 学期		世界の民族音楽・芸能	鑑賞		『ラーマ物語』を題材とした芸能	・東南アジアから南アジアにかけての芸能で取り上げられること多い『ラーマ物語』の内容を理解する ・『ラーマ物語』を題材にする各地域の芸能の音楽表現の共通性と固有性を考える ・用いる楽器や衣装、舞踏などと音楽との関わりに注目しながら、それぞれの音楽のよさや美しさを深く味わう	○	○	○
	1	日本の伝統音楽	鑑賞		義太夫節	・義太夫節の語り挑戦し、義太夫節の特徴を感じ取る。	○	○	○
	2	ギター	表現	器楽	Stand By Me	・ギターの仕組みについて理解する ・ギターアンサンブルや英語歌詞の弾き語り、個性豊かな表現を創意工夫する ・楽しみながら、ギターアンサンブルや弾き語りの表現に主体的に取り組む	○	○	○
		外部施設との交流演奏会に向けて 合唱	表現	歌唱	卒業ソング	・聞き手を意識したプログラムを考える ・豊かな発声で、歌詞に込められた思いを理解し表現することができる	○	○	○

令和8年度 2年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
芸術	生活書道	2	2年	選択者

使用教科書	副教材等
きれいな「ペン字」にはわけがある 生活編 文例と練習 (二玄社)	資料プリント

科目の目標 硬筆・毛筆の諸活動を通して、生活の中の実用的な書に関する知識や技術を身につけ、創造的な表現及び鑑賞の能力を高めるとともに、生涯にわたって書道を愛好する心情を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	創造的な書表現をするために、書の効果的な知識と表現の技能を身に付け表している。
② 思考・判断・表現	書表現の諸要素を感じ、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
③ 主体的に学習に取り組む態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価方法	
ア ワークシート イ 練習問題 ウ 実技・理論(小)テスト エ 提出物の内容 オ 授業に 取り組む姿勢 などをもとに総合的に評価する。	

学習計画						
月	【単元名】	【使用教科書項目】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	実用書の概要	筆記用具 線の基本	・用具・書式を理解する ・姿勢・執筆を学ぶ	○		○
5	実用書の基礎	楷書の特徴 行書の基本	・漢字の楷書・行書を学ぶ			
6		別紙資料用意	・草書の読み方を学ぶ ・常用漢字と旧字体・書写体を理解する ・活字と手書き文字の違いを理解する	○	○	○
7		ひらがな	・漢字仮名交じり文を学ぶ			
9	手紙・葉書	手紙の書き方 はがきの書き方	・手紙・はがきの書式と表現方法を理解する			
10	掲示文	別紙資料用意	・掲示文の書式と表現方法を理解する	○	○	○
11	毛筆による 慶弔の表書き	暮らしの中の書	・伝統的な書式について理解する ・冠婚葬祭のマナーについて理解する			
12	毛筆による 年賀状	別紙資料用意	・賀詞・添え書きなどの伝統的な書式について理解する			
1	履歴書	履歴書	・履歴書の書式と表現方法を理解する	○	○	○
2	実用書のまとめ	別紙資料用意	・実用書の書式と表現方法を理解し、作品にする			